

宮崎大学 病院ニュース

2025
04
Ver.1



Contents

- 賀本病院長挨拶
- 次の50年に向けて
- 宮崎大学医学部開講50周年記念事業

～病院長挨拶～

令和6年10月に宮崎大学医学部附属病院の病院長として、大学病院の舵取りをさせていただくこととなりました。ポストコロナの医療のあり方が模索されている中、地方大学医学部における教育や地方の「真っ当な」医療をいかに守るか、宮崎県の皆様からの不安と期待にいかに応えるか、医学部教員や附属病院職員が一丸となって邁進する所存ですので、どうかよろしくお願い致します。

宮崎大学医学部は昨年、その前身である宮崎医科大学の開学から50周年を迎えました。しかしながら、現在に至るまで本学出身者が宮崎県の医療に十分に寄与しているとは言えない状況です。そのような中、2020年の「新型コロナ禍」に対する対応は、宮崎大学医学部附属病院が宮崎県の医療の「中心」であり「最後の砦」であることを、自他ともに再認識させるものでした。

一方、2018年に医療法が改正され、医学部入学の際に地域枠などの推薦入試で入学した学生は、医師として9年間宮崎県内で従事することが義務化されました。この制度は「キャリア形成プログラム」と呼ばれ、卒後9年間のうち4年間は宮崎市以外の医師少数地域での診療が求められます。これを実現するために、医師少数地域の医療施設とこれまで以上に密に連携をとりながら、大学病院が中心となり、診療科や医療スタッフの充実を図ることを決意しております。

今年4月には宮崎駅北西に「錦本町ひなたキャンパス」が開講しました。より宮崎市民、宮崎県民の皆様アクセスしやすい、宮崎大学ならびに宮崎大学医学部附属病院の「玄関口」として、さまざまな企画を考えております。そのほかにも、さまざまな取り組みを計画しています。宮崎県唯一の特定機能病院として、県民の皆様の健康を支え、命を守る活動を推進していく所存です。宮崎大学医学部附属病院を今後とも宜しくお願い致します。

賀本敏行 Toshiyuki Kamoto

昭和36年 大阪生まれ。昭和62年に京都大学を卒業し泌尿器科に入局、大学院入学後に病理学助手から泌尿器科の助手⇨講師⇨助教授を経て、平成21年から宮崎大学医学部泌尿器科教授、平成23年から副病院長、令和6年10月から病院長。
趣味はゴルフと阪神タイガースの応援。



次の50年に向けて ～宮崎医科大学・宮崎大学医学部開講50年～

.....

宮崎大学医学部は、宮崎医科大学として昭和49年(1974年)6月に無医大県解消を目指す国の構想の一環として設置されました。開学2年目の1975年に講義棟が完成するまでは、現在の宮崎県総合運動公園内(宮崎市熊野)にある仮校舎で第一期生の授業が行われました。2003年に旧宮崎大学との統合を経て、宮崎大学医学部となり、現在まで、医学部推薦入試における地域枠の積極的な導入、大学院医学獣医学総合研究科や大学院看護学研究科の設置など、教育・研究環境の整備を進め、宮崎県地域の医療に貢献すべく、多くの医療人を輩出してきました。

宮崎医科大学附属病院は、昭和50年(1975年)4月1日に創設準備室が設置され、昭和52年(1977年)10月31日に開院(336床)し、昭和54年(1979年)に616床となりました。その後、安全・安心な高度な医療を提供するため様々な部門やセンターが設置され、平成19年に新中央診療棟、平成22年には外来診療棟が完成し、救命救急センターが設置されて632床となり、ドクターヘリ運航が開始されました。平成27年には初めて国立大学法人が公立病院を運営するコミュニティ・メディカルセンター(宮崎市立田野病院指定管理者)を設置し、現在は臓器別診療科、専門部門・センターの形態でスタッフ一丸となり診療、教育、研究を通して社会への貢献を使命として尽力しています。



宮崎大学医学部 開講50周年記念事業

令和6年は、開講50周年に関する様々な記念事業が開催されました。

日常生活で気を付けるべき健康問題を循環器領域・整形外科領域の医師が講演したほか、参加者も参加して体操やダンス、クイズ大会が行われました。

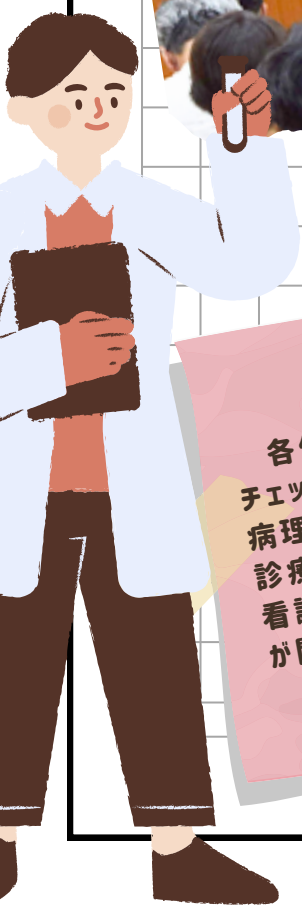


スペシャル健康講座

工藤公康氏(福岡ソフトバンクホークス元監督)が「野球と私の人生」と題し講演され、幼少期からプロ野球時代までの工藤元監督のご経験をお話されるとともに、野球を通して得られた仲間、継続し諦めないことの大切さ、プロとしての意識など、様々なお話をされました。



各体験ブースでは、健康度チェックや、救急・外科手術・病理診断・画像診断などの診療体験、医学部(医学会・看護学科)入試説明会などが開かれました。



宮崎医科大学・宮崎大学医学部 開講50周年記念式典・演奏会・祝賀会

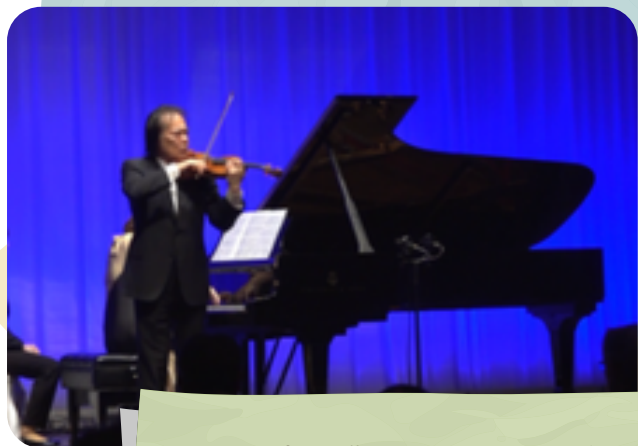
卒業生や関係者や海外協定校の方々など、国内外から約300名が参加しました。



祝賀会では思い出話に浸りつつ、次の50年に向けた未来への決意を共有しました。

バイオリニスト徳永二男氏のリサイタルでは、美しく荘厳な音色がホール全体に響き渡り、参加者はその素晴らしい音色に酔いしれました。

演奏の合間には、渡邊望教授とのトークセッションがあり、宮崎国際音楽祭にまつわるエピソードや、ストラディバリウスの説明など、なかなか聞くことのできない貴重なお話を存分にさせていただきました。



記念式典では、河野俊嗣宮崎県知事、清山知憲宮崎市長をはじめ、多くの来賓の方々から祝辞が送られました。



宮崎大学医学部附属病院
University of Miyazaki Hospital

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL 0985-85-1510(代表) FAX 0985-85-3101